

と採用に努力を」等の質疑がありました。

次に費目ごとに審査し、**議会費**では「議長公務の状況を勘案して議長交際費の見直しが必要ではないか」、**総務費**では「市内業者育成の観点も踏まえた契約を」「女性職員の活躍、ワーク・ライフ・バランスの推進を図り、良好な職場環境整備に取り組むべき」「新庁舎建設の検討では場所など様々な検討で市民の声を聴くべき」「毎年度一般財源8億円を見込む公共建築物マネジメントから、今後の第七小学童、第九小・第十小校舎増築は外して考えるべき」「公共施設等総合管理計画を実のあるものにするためにも、個別施設計画の策定では財政面や個別状況を考慮すべき」「国分寺駅北口再開発での公益フロアに設置する自動販売機の収入は市の歳入になるよう検討を」「国分寺市イメージキャラクターぶんじほたるホッチの使用許諾契約が5年更新される。まちの魅力発信に資するよう活用方法を詰めるべき」「Lホールの使用期限を延長してはどうか」「国分寺まつりに対する東京弁護士会からの要望書への対応は市の見解を示してまとめるべき」「まちづくりセンターにおける協働は、市民と市の役割を踏まえて推進すべき」「まちの魅力発信として、国分寺の名物・名産のPRを初め、マンホールのイラスト、史跡調査体験、東京の重心、真姿の池のパワースポット化などの様々な魅力を活用してはどうか」等、**民生費**では「市長会等を通じて介護職の処遇改善に係る支援の働きかけを」「社会福祉法改正による社会福祉法人のネットワーク化にあたって市として支援を」「今年度体制整備する認知症初期集中支援チームを確実に進めるとともに、キャラバンメイト養成体制の構築を」「運転免許証自主返納高齢者へのぶんバス無料バス配付に関し、小金井警察署と連携すべき」「障害福祉計画策定におけるアンケート調査では障害児のニーズ把握を」「保育士宿舎借上げ支援事業補助金は保育士に限定せず、職種等を広げ、安心保育につなげるべき」「待機児童解消策として幼稚園の力を借りて預かり保育等を構築してはどうか」「医療費助成制度は区部と同等の制度となるよう国、東京都に働きかけを」等、**衛生費**では「健康推進モバイルサービスやブラウンバッグの配布等新規事業導入にあたりしっかり周知を」「いずみプラザ内にある調理室活用の検討を」「新規の出産・子育て応援ゆりかご事業の実施にあたっては母親に喜んでもらえる事業となるよう取り組みを」「路上喫煙禁止地区内の指導及び清掃委託は恋

ヶ窪駅周辺でも実施すべきでは」「ペットボトルの戸別収集実施に向けた積極的な検討を」「現清掃センターを解体し、リサイクルセンター等を新設する計画では、財政支出削減に向けた検討を」等、**労働費**では「過労死等を予防するためにも労働法等の情報提供と相談窓口の周知を」等、**農林費**では「こくベジプロジェクト推進にあたり」A、商工会等との連携強化を」「農業体験農園を拡充すべき」等、**商工費**では「クラウドファンディング方式により観光案内板を設置するにあたり、同方式のわかりやすい周知と、地元企業にも賛同・協力が得られるように」「観光案内ルートはペンシルロケットに係るルートなど複数検討を」等、**土木費**では「無電柱化の調査は、災害時や財政負担の軽減などの多角的視点をもって」「カーブミラー等の設置・修繕では自転車を含めた安全対策の対応を」「国分寺駅北口地下自転車駐車場整備では6千台を確保するこれまでの計画を検証するとともに、臨時自転車駐車場の契約延長を検討すべき」「総合的な公園・緑地の維持管理計画の策定は過去2年間の実態調査を踏まえて推進を」「空き家の活用では市内の情報共有とともに市民への情報提供を」「特定行政庁に係る支出は約1億円である。これを軽減するためにも複数市での事務の連携・共同化を研究すべき」等、**消防費**では「家庭での防災備蓄品の保管方法と消費期限との関係の広報を」「防災関連用地を活用し、地域の要支援者の避難を想定した防災訓練を検討すべき」等、**教育費**では「福島原発避難者へのいじめや携帯電話など通信機器によるいじめ防止に向けて継続した取り組みを」「学校の音楽活動を支援するため、市民に楽器寄附の呼びかけ実施を検討すべき」「今回の第九小、第十小学校の増築にあたっては国の補助金が見込めない。国への申請期限も含めて教育環境整備を計画的に行うべき」「中学校でも赤米を使った給食の体験を」「史跡の追加指定は機を逃さず手続きを進めるべき」「放課後子どもプランは教育部と子ども家庭部が連携し、今後のあり方自体を早急に検討すべき」「図書館の一部業務委託化は検討のスピードをあげて拡大に取り組むべき」「地域の理解を得て学校校庭・体育館の夜間開放を」等、**債務負担行為調書**では「債務負担行為は将来にわたっての財政負担である。全体をしっかりと把握し、増加抑制、財政管理すべき」等といった質疑がありました。

一般会計は賛成多数で可決

委員会では、採決の結果、賛成多数で可決し、

21日開催の本会議では、各会派から討論が示され同様の結果となりました。(※一般会計予算案に対する各会派討論は5～7頁に、各議員の本会議での表決結果は8頁に掲載)

特別会計予算は 3特別会計：賛成多数、 その他の特別会計：全員賛成で可決

委員会において、**国分寺都市計画事業国分寺駅北口地区第一種市街地再開発事業特別会計**では「再開発事業の借入額や今後発生する再開発ビルの管理費や修繕費等を見込んだ市の負担等の積算を」「一時借入金の根拠は何か」等、**地域バス運行事業特別会計**では利便性の向上に向けて「西国分寺駅北口に接続できるよう北町ルートの変更を」「北町ルートの子バス停の増設を」「各地域バスの乗り継ぎができるシステムの導入を」「高齢者が病院や施設を利用する観点からのバス停の見直しを」等、**介護保険特別会計**では「介護予防サービスの計画は、当初29年度から総合事業を開始予定だったが、急きょ28年度からの開始に計画変更した。これに伴って29年度の計画額の精査がしっかりできていないのではないか」「計画策定のためのアンケートは民間事業者に委託し、郵送で個人情報収集しているが、この調査のやり方は問題ではないか」「計画策定のために個人名等の収集が必要なのか」「ニーズ調査の質問は多岐にわたるので調査に協力してもらうためにも使用目的を明確に伝えられるよう丁寧な対応を」等、**後期高齢者医療特別会計**では「国の制度改正による保険料の軽減特例の廃止によって高齢者への負担増が懸念される」等といった質疑がありました。

本会議では、**国分寺都市計画事業国分寺駅北口地区第一種市街地再開発事業特別会計**は「財政負担の大きい本事業の早期完了とビル敷地の売却益を市民生活に活用すべき」等の反対討論のち賛成多数で可決。**介護保険特別会計**も「介護準備基金の過大な積み増しの原因は、地域支援事業を含む給付費の過大見込みにある。そのような算定に基づく保険料を高齢者等に求める介護保険運営は許されない」等の反対討論のち賛成多数で可決。**後期高齢者医療特別会計**についても「保険料の所得割額の特例軽減が廃止されるに伴い高齢者等への負担増を求める政策をとるべきでない」との反対討論のち賛成多数で可決しました。

その他の会計は全員賛成で可決しました。

市政を
問

平成29年 第1回定例会 代表質問の質問事項・答弁の要旨

内容は各議員が一定のスペース内で自由にまとめたものを代表質問が行われた順番で掲載しています

続投で将来に負担先送りにしない市政運営を！



自民党国分寺市議団 吉田 りゅうじ

▼市政運営に当たっての基本姿勢

【吉田】例年「財政」から始まる施政方針であったが、本年は「市民の生命と財産を守る」から触れた心情は如何に？

【市長】就任以来、12万人市民の生命と財産を守る重責を痛感しつつ市政運営してきた。全国的な自然災害の増加など直面する課題に対し、

防災力の強化や財政基盤の確立に努める。

▼新庁舎建設について

【吉田】市役所の庁舎は市民の集う場であると同時に、時には災害本部たる機能をも果たすべき重要施設である。東日本大震災後、耐震問題で取り壊した後、現在の仮庁舎は5年を経過しており市民からは早期新設を切望されている。

【市長】首都直下型地震への懸念、市民の利便性早期復活の為にも、華美でなく強固な防災拠点の中心たる新庁舎の建設に取り組んでいく。

▼まちの魅力発信を推進

【吉田】テレビ番組「長つと散歩」に出演され、番組を通じて市民と触れ合い、新たな国分寺市の魅力を発見したものと拝察。その魅力を引き出すとともに、引き続き様々な媒体を活用しな

がら市のPRに努めて載きたいが如何か。

【市長】JR国分寺駅内の改札近傍床に市の鳥「カワセミ」や「七重塔」など4種類の絵柄を使ったタイルを敷いた。また、中央線の国分寺駅と西国分寺駅、武蔵野線の西国分寺駅の発車メロディが「国分寺市の歌」他国分寺市にゆかりの曲が流れる。併せて、マスコミ、市報やホームページ、SNS等様々な媒体を活用する。

▼商農工業の振興について

【吉田】国分寺市内に鉄道駅が3つもあり、地域産業を発展させる為の「賑わい」が不可欠。個々の店舗や企業が持つ魅力をもっと多くの方々に知って戴く工夫も必要。一方、3年目の「こくベジ」事業は、若手生産者や若手事業主のご
次ページに続く▶